



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2010年（平成22年）11月5日号 No. 1511

目次

■ ロシアのブリヤートを訪問して	高橋 浩 1
■ 統計速報	6
2010年1～9月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／6	
2010年1～9月の日ロ貿易／7	
■ トピックス	9
OKIのモスクワ販社／9	
ぺんてるがモスクワ販社設立へ／9	
ユニクロ ロシア2号店／9	

ロシアのブリヤートを訪問して

ロシアNIS経済研究所

高橋 浩

はじめに

8月2～6日に、ロシア連邦のバイカル湖の東岸に位置するブリヤート共和国政府を日本のビジネスマンなど約20名が訪問した。この企画は同共和国政府が、同地域で鉱山開発などを実施しているロシアの民間企業メトロポール社との共同企画による招聘事業である。当会からは、ロシアNIS経済研究所の高橋浩・副所長および齋藤大輔・調査役が参加した。今号ではブリヤート共和国における視察内容を報告したい。

ブリヤート共和国までのアクセス

当会の2名を含め、参加者の多くは、ブリヤート共和国の訪問は初めてであり、日本人を含む外国人が同共和国を訪問することもこれまで少なかった。

その理由はアクセスの悪さがあったとみられる。外国から首都ウラン・ウデまでの直行便は、本年2010年6月以前は皆無であって、ハバロフスクあるいはモスクワ経由での飛行機あるいは、シベリア鉄道経由ということになる。飛行機便が少ないために、今回の参加者のなかにも、モスクワに帰るにも隣のイルクーツクまで列車で移動した上で、モスクワ行きに乗るなど、周辺からはやや隔離された地域である。